

事例名 宇宙の視点から、命を守る～GPSとスマホの山岳地帯での活用～
受賞者 株式会社ヤママップ 春山慶彦
事例の概要

受賞者は、全地球測位システム(GPS)に、オリジナルの山岳地図をマッピングすることで、電波の届かない山の中でも、スマホだけで自分の現在地が分かる登山アプリ[YAMAP]を2013年にリリース。山で現在地を確認する方法を、紙の地図とコンパスからスマホへ置き換え、昨今「道迷いによる遭難」をGPSという宇宙の視点から防止している。

選考委員会講評／受賞のポイント

登山人気を支援するアプリとして完成度も高い。身近なアイテムで情報がキャッチできるのが素晴らしい。幅広いユーザーにサービスを提供し、人命救助に役立っている点を評価。


ポイント・具体的成果等
1. 宇宙開発利用の新たな領域創造への貢献

2013年のリリース後、国内最大の登山アプリへとスケールさせ、登山の現在地確認に必要な道具を、紙とコンパスからスマホに置き換えた。スマホを、オフラインの山で活用し、収集したデータをさらにオンラインで活用するという、新たな情報の循環も創出。

2. 宇宙開発利用市場の拡大への貢献

YAMAPでは国内・海外含め2500件弱のオフライン地図を無料で使うことができ、里山のような低い山もカバーし、無料で使うことができる手軽さから、ユーザーは増加の一途。また、他の登山地図アプリが増加するなど、「登山中にスマホのGPS機能を利用する」という行動様式を拡大。

具体的な実績は、ダウンロード数：736,198件(前年比+161%、2017/12/9時点)、PV数：月間約1億PV(前年比+250%、2017年11月時点)、登山地図アプリ利用者数国内No.1(株式会社フラータレ、2017年10月時点)。

3. 産業、生活、行政の高度化及び効率化への貢献

八甲田山などの山岳救助隊でYAMAPが活用されるなど、自治体においても命を守るアプリとしての認識が拡大。また、オフライン環境下でも活用できる特性を生かし、福岡市や屋久島口永良部島の防災マップを作成。さらに、このアプリが、登山の普及につながり、健康増進や心の支えとしても貢献。

4. 技術への貢献

スマホは、タッチスクリーンと大きな画面を持ち、専門のGPS端末よりも操作性や視認性に優れている。高性能なGPSチップが内蔵されている機種も存在し、通信機能も有しており、誰でも一台持つ普及率がある点に着目し、従来の紙の地図の情報と、スマホアプリのUIを融合させ、操作性の高いアプリを開発。追加コストなしに、専門端末以上のサービスの利用が可能。

5. 普及啓発への貢献

アプリを活用した登山を啓蒙する講演(夏山フェスタ2017in名古屋、夏山フェスタ2017in福岡、ぐんま山フェスタ2017、岳都・松本山岳フォーラム2017)や自社イベント・YAMAPジャパントア(札幌、仙台、松本、東京、静岡、名古屋、大阪、広島、高知、福岡)を開催。

また、環境省と国立公園オフィシャルパートナーシップを締結(2017)。新聞、テレビ、雑誌、WEB等による報道多数。若者向けの山番組、登山の啓蒙サイトも制作。